

歴史書

1

2012
No. 199



通信

条坊の痕跡は条里で消されることが多い／黒崎 直

歴史書新刊ニュース〈11・12月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈11・12月〉

会員社刊行の2011年受賞図書

歴史懇リバイバル2011フェア書目・参加店一覧

歴史書懇話会

条坊の痕跡は条里で消されることが多い

—古代の地割研究に発掘調査は不可欠—

黒崎 直

(富山大学名誉教授)

去る2010年は、平城京（奈良市）に都が遷されてちょうど1300年目に当たる節目の年だった。地元・奈良県ではこれを記念して平城宮跡をメイン会場として「平城遷都1300年祭」を開催し、予想以上の観客が訪れて会場は賑わいを見せた。

ところで平城京跡への関心は、江戸時代末に始まる。伊勢藤堂藩・奈良奉行所に勤務する北浦定政の「平城宮大内裏跡坪割之図」（1852年）がその嚆矢で、水田畦畔に残された平城京の町割（条坊）を丹念に現地調査したその成果が図示されている。また半世紀後には奈良県技師の関野貞が『平城京及大内裏考』（1907年）を著し、宮跡内に点在する土壇の様子から「大黒の芝」と呼ばれる土壇こそが平城宮の大極殿跡だと断定している。これを契機に宮跡保存顕彰への動きが活発化したことも注目すべきである。「平城遷都1300年祭」の成功の礎として、これら先学の活躍を忘れてはならないだろう。

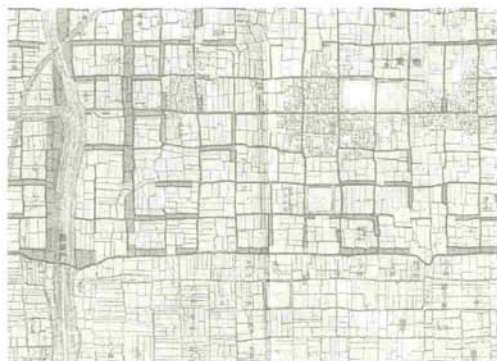
ところで北浦・関野の研究は、現地に残る水田畦畔や土壇などを手がかりに、宮の所在や京の構造を解明するところに共通点がある。いわゆる歴史地理学的手法であり、彼らが示した成果は、以後の調査研究

に照らしても大きく修正する必要はない。それだけ彼らの研究精度の高さを示すと共に、宮の官衙配置や京の道路・宅地割などが良好な形で水田畦畔に反映されていたことを物語る。まさに8世紀の条坊が、20世紀にまで「凍結保存」されてきたのだ。

では平城京に先行する藤原京では如何であろうか？

結論から記せば藤原京の場合、平城京とは異なって現地表面に残る地割の痕跡から京を復元することは不可能である。その理由は極めて単純で、藤原京の条坊が都が遷された後に施工された条里（水田の地割）によって完全に消し去られているからである。だから如何に地表面を詳細に観察しても、京の構造を復元することはできない。だが発掘調査してみると地下には、柱穴や道路側溝などの深く掘り込まれた遺構は残っている。その意味では、藤原京の条坊が完全に消滅してしまったわけではなく、条里に「覆い隠され」ているともいえるだろう。

よく知られているように条坊は「都市の地割」、条里は「農村の地割」であって、共に土地を方眼状に区画する制度である。では何処が違うのか？



平城京遺存地割（羅城門付近）

その一つの違いが区画に用いられる基準寸法である。すなわち条里は360尺（約107m）、条坊は450尺（約134m）の寸法を基準に方眼が組まれる。だから基点が同じでもしだいにズレが生じてしまう。また方位的にも相違があり、条坊は正方位（東西南北）を厳守するが、条里は必ずしもそれにこだわらず、地域の地形（河川や海岸線）に沿って設定されることが多い。

ともあれ藤原京の条坊は、後世の条里に消されて地表からは全く見えないのだ。その事実を正しく理解できるようになったのは1960年代後半のことで、それ以前には条里痕跡を手がかりに条坊を追求していたから、京の復元は決して成功しなかった。歴史学者の喜田貞吉もまた「藤原宮は下ツ道・中ツ道の中央に位置する」と正しい判断を下しながらも、条里に惑わされて両道の位置比定を誤り、ついに正解はえられなかった。

これに対して、バイパス工事に伴う藤原宮の発掘調査（1960年代）を指導した岸俊男（京都大学教授）は、

地下から掘り出される条坊関連遺構に注目し考察を進めた。そして1968年、藤原京条坊の復元に成功する。岸が示した条坊位置を発掘調査すれば、地表に何ら痕跡がなくても地下から道路跡などが姿を現すのだ。こうして岸が復元した藤原京の正しさが発掘調査で証明されていった。だが反面、発掘調査の進展につれて、あらたな問題も生じてきた。岸説では南北十二条（約3.2km）、東西八坊（約2.1km）が京の規模とされてきたが、その範囲をこえて条坊が発見されはじめる。いわゆる「大藤原京」問題である。現状では「10里（約5.3km）四方」という平城京よりも大きな藤原京域を想定する説が最有力だが、それ以上に拡大する可能性も皆無ではないし、変遷をめぐっても諸説が入り乱れている。発掘調査をしなければ本当のところは判らないという藤原京の「神秘性」が、研究の困難さを生み出している。藤原京の地下には、まだまだ未知の課題が数多く潜んでいるかもしれない。

同様な状況はまた、平城京が遷さ

れた長岡京においても認められる。ここでも都が平安京に遷された後、条坊を消すように条里が施工されているからだ。そのこともあって長岡京の条坊研究は困難を極めており、いまだに京全体にわたる復元案は確立していない。そして平安京でも同様の困難さがある。無論のこと平安京に条里の施工はないが、中・近世から近・現代へと続く千年の都としての歴史の変遷が、古代の姿を地下に覆い隠している。このように対比してみると平城京の例がいかに特殊であり、かつ僥倖であったかがよくわかる。平城京の遺存例は、まさに奇跡と呼べるのだ(ただし近時の「開発」で、その大半が失われてしまうのはまことに残念である)。

しかし全貌が解明されていたと思われてきたこの平城京でも、条里によって消された条坊の跡が発掘され始めた。2007年に調査された「十条条坊」の遺構がそれで、京内と同時に設計・施工された条坊が九条大路を超えてさらに南へ広がっていたのだ。ただし条坊自体は730年頃までに「条里地割」で埋め戻され九条分に縮小されていたが、当初の姿が藤原京と同じく南北十条であった可能性を示し、「平城京は南北九条分(約4.8km)」というこれまでの常識に再検討を促した。解明済みと思われた平城京でも、まだまだ「謎」は地下に存在するらしい。

そのうえ藤原京に先行する飛鳥京でも、地割の存否をめくりあらたな問題が顕在化してきている。これまで飛鳥には宮や寺の配置を律する地

割は存在しないとするのが学界の常識だった。しかし発掘調査が進行して道路や伽藍中軸線などのデータが蓄積されると、基準寸法が異なる複数の地割計画が時期を違えて施工された可能性が出てきたのだ(拙著『飛鳥の都市計画を解く』同成社、2011年参照)。舒明・皇極朝の5分の1里(約106m=条里に近い数値)と、斉明朝の4分の1里(約132m=条坊に近い数値)と、天武朝の4分の1里(後の藤原京に類似)とを基準寸法とする3種の地割計画の存在がそれだ。ただしその実在を示す発掘例は極めて少なく、まだまだ説得力という点では弱い。飛鳥の現地表に残る地割は、藤原京と同系の条里地割である。それを含めると飛鳥には、四つもの地割が重層的に刻み込まれたことになる。複雑に重なりもつれたその糸目を丹念に解きほどこしてこそ、飛鳥の地割が正しく理解できるのだと思う。先に紹介した平城京「十条条坊」や「大藤原京」問題など、発掘調査の成果が「常識」に再考を求めた事例は多い。飛鳥京においても「地割は存在しない」と決めつけず、可能性のある地点を発掘することも必要だと思う。地下に埋もれ隠れてしまった遺構は、地表からは決して窺うことができないからだ。「古代の地割研究に発掘調査は不可欠」と強く主張するゆえんである。

(表紙写真) 飛鳥の中心部(飛鳥寺上空から飛鳥宮を望む)

写真: 奈良文化財研究所

新刊ニュース

11・12月発行図書 *発売は予定のものもあります

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

唐古・鍵遺跡—奈良盆地の弥生大環濠集落

日本の遺跡45

藤田三郎著

四六判 192頁 1,890円

同成社〔12月刊〕

邪馬台国との関連で注目された楼閣の絵を含む多数の絵画土器や、青銅器鑄造施設の詳細など、最新のデータから集落の様相を平易に語る。 978-4-88621-589-5

古墳時代史の枠組み

古墳時代の考古学 1

一瀬和夫・福永伸哉・北條芳隆編

B 5判 272頁 6,300円

同成社〔12月刊〕

研究史を精査し、国内外の資・史料を駆使して、遺物の編年や実年代といった古墳研究の基盤とその到達点を提示する。 978-4-88621-583-3

常陸国風土記と考古学

市民の考古学11

茂木雅博著

四六判 180頁 予価1,785円

同成社〔12月刊〕

貝塚、古代布、玉造り、製塩、漆紙文書など『風土記』をめぐる諸テーマを中心に古代常陸国の様相を豊富なエピソードとともに平易に解説。 978-4-88621-590-1

古墳時代上巻

講座日本の考古学 7

広瀬和雄・和田晴吾編集

A 5判 780頁 8,400円

青木書店〔12月刊〕

古墳時代の社会構成を明らかにするために、首長墓の系譜をあとづけ水田稲作を食料生産の基調とみながら、東アジアとの関わりをも述べる。 978-4-250-21109-6

縄文文化起源論の再構築

谷口康浩著

A 5判 300頁 6,090円

同成社〔12月刊〕

「縄文草創期」の年代観を大きく見直すきっかけとなった青森県大平山元遺跡の調査に携わった著者が縄文文化の起源を改めて問う。 978-4-88621-586-4

中国夏王朝考古学研究

飯島武次著

B 5判 480頁 予価15,750円

同成社〔12月刊〕

伝説的存在とされてきた中国最古の夏王朝について、著者の二十年を越える経験と膨大な発掘調査成果をふまえてその実在を検証する。 978-4-88621-588-8

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

古語大鑑 第1巻あ～お

築島 裕編集代表

B 5判 936頁 39,900円 東京大学出版会〔12月刊〕

上代から鎌倉時代の終わりまでの語に重点を置き、その期間に成立した文献に現れる語彙を収録。見出しを現代仮名遣いで示し、語釈、語源などを解説し、文献の用例(最古の用例)を探索。この辞典だけで古い言葉の世界を見通すことができる。 978-4-13-080005-1

明治時代史大辞典 1

宮地正人・佐藤能丸・櫻井良樹編

四六倍判 1092頁 特価27,300円 吉川弘文館〔11月刊〕

あらゆる分野の事項・人物約9500項目を詳細・正確に解説。近代日本の出発点“明治時代”への理解を深める総合歴史大辞典。 978-4-642-01461-8

日記に読む近代日本 5

アジアと日本

武内房司編

四六判 286頁 3,045円

吉川弘文館〔12月刊〕

竹内好・河口慧海をはじめ、人類学者、実業家、アジア人留学生などの民間レベルの外交に活躍した人々に光をあて、波瀾の生涯を描く。 978-4-642-06428-6

古代日本の気候と人びと

吉野正敏著

四六判 200頁 2,520円

学生社〔11月刊〕

古代における農耕社会と気候の変化を始め、古代日本で気候の変化は神話や飛鳥の景観変化、政治や生活、土木工事などにどんな変化をもたらしたか。 978-4-311-20342-8

象徴天皇の源流

今谷 明著

四六判 288頁 予価2,625円 新人物往来社〔12月刊〕

日本における象徴天皇制の源を平安時代のなかに捉える一。中世天皇論の権威である著者による、天皇史の決定版。天皇制を理解するための用語集も掲載。 978-4-404-4122-7

Story 日本の歴史 増補版

日本史教育研究会編

四六判 216頁 予価1,000円 山川出版社〔12月刊〕

『Story 日本の歴史』既刊の2冊で取り上げることのできなかった歴史上の出来事や人物を取り上げ紹介する。

978-4-634-59074-8

家康公伝 5【逸話編】家康をめぐる人々

現代語訳徳川実紀

大石 学・佐藤宏之・小宮山敏和・野口朋隆編

四六判 384頁 3,990円 吉川弘文館〔12月刊〕

時には信長の浅井攻めに諫言し、農民には憐憫の涙を流し、戦いで名を馳す高名な武将。家康を取り巻く様々な人々とのエピソードを綴る。 978-4-642-01815-9

天皇陵古墳を考える

白石太一郎編

四六判 304頁 2,940円

学生社〔12月刊〕

箸墓古墳は卑弥呼の墓か？ 次の大王墓とされる西殿塚古墳は誰の墓か？ など応神・継体・欽明・敏達・天武・持統各天皇陵の謎を探る。

978-4-311-20343-5

古代蝦夷

歴史文化セレクション

工藤雅樹著

四六判 352頁 2,520円

吉川弘文館〔11月刊〕

東北・北海道考古学研究成果、文献史料、アイヌ語地名などを駆使して古代蝦夷の実像に迫り、北日本古代史論を提示した名著。

978-4-642-06377-7

光明皇后一奈良時代の福祉と文化

ザ・グレートブッダシンポジウム論集 第9号

GBS 実行委員会編

A 4判 152頁 2,000円

法蔵館〔12月刊〕

奈良時代における社会的弱者の保護—光明皇后施薬・悲田両院設置の背景を探る(森本公誠)、光明皇后と正倉院宝物—「除物」に関する断章(杉本一樹)他。

都はなぜ移るのか

遷都の古代史 歴史文化ライブラリー-333

仁藤敦史著

四六判 256頁 1,890円

吉川弘文館〔11月刊〕

都城の役割と遷都の意味を制度・外交・交通・経済・儀礼などから検討。「動く都」から「動かない都」へと転換した理由を解明する。 978-4-642-05733-2

「職」成立過程の研究

歴史科学叢書

梅村 喬著

A 5判 368頁 10,500円

校倉書房〔12月刊〕

日本の古代から中世への過渡期に広がった「職」という特殊な官職的身分秩序に、古代史学の側から検討を加え、成立の過程を探った。

978-4-7517-4360-7

重源と栄西—優れた実践的社会事業家・宗教者—

日本史リブレット人27

久野修義著

A 5変型判 96頁 840円

山川出版社〔11月刊〕

「源平内乱」という未曾有の社会的大変動後のあるべき社会と仏法を求めて、東アジア規模で活躍した二人の宗教者を見比べ、足跡を探る。 978-4-634-54827-5

新版 全譯 吾妻鏡 第一巻

永原慶二監修

A 5判 388頁 7,455円 新人物往来社〔11月刊〕

新人物往来社創業60年記念企画。分売可。日本中世史の最重要史料「吾妻鏡」全文を読み下し文に改め、各巻ごとに解説文を付して新編集した決定版。別巻には用語注解、人名・地名索引、系図・年表など読解に役立つ資料を収載。

新版 全譯 吾妻鏡 第二巻

永原慶二監修

A 5判 408頁 7,770円 新人物往来社〔11月刊〕

新版 全譯 吾妻鏡 第三巻

永原慶二監修

A 5判 472頁 9,030円 新人物往来社〔11月刊〕

新版 全譯 吾妻鏡 第四巻

永原慶二監修

A 5判 506頁 9,660円 新人物往来社〔11月刊〕

新版 全譯 吾妻鏡 第五巻

永原慶二監修

A 5判 564頁 10,500円 新人物往来社〔11月刊〕

新版 全譯 吾妻鏡 別巻

永原慶二監修

A 5判 424頁 8,050円 新人物往来社〔11月刊〕

第一巻 978-4-4040-4105-0
 第二巻 978-4-4040-4106-7
 第三巻 978-4-4040-4107-4
 第四巻 978-4-4040-4108-1
 第五巻 978-4-4040-4109-8
 別巻 978-4-4040-4110-4

平清盛ガイドブック

別冊歴史読本55

『歴史読本』編集部編

B 5判 192頁 1,545円 新人物往来社〔11月刊〕

【雑誌コード69656-55】2012年NHK大河ドラマの主人公、平清盛のことがわかる！ドラマの見どころ徹底ガイドとして、人物相関図やインタビューを掲載するとともに、清盛の生涯や彼をめぐる100人の群像を解説。特別付録として「童門冬二の「平清盛を語る」CD付。 978-4-4040-3655-1

乙女の「平家物語」

井上渉子著

A 5判 192頁 1,680円 新人物往来社〔12月刊〕

「平家物語」に出でくる男性達は、戦いの中で一瞬の輝きとともに多くが死んでしまう。そんな彼らの魅力を、イラストと4コママンガで紹介。楽しみながら読んでわかる。2012年大河ドラマ「平清盛」の世界！ 978-4-4040-4114-2

日本中世債務史の研究

井原今朝男著

A 5判 422頁 7,560円 東京大学出版会〔11月刊〕

中世におけるモノの貸借や授受が、いかに現代と異なる法則で成り立っていたのか。丹念な史料分析から借り手と貸し手が共存する中世社会の特徴を明らかにする。 978-4-13-026230-9

アジアン戦国大名大友氏の研究

鹿毛敏夫著

A 5判 254頁 9,450円 吉川弘文館〔11月刊〕

日本・中国・インド・ポルトガルに残る史料・絵画・遺物などから、「アジアン大名」としてのグローバルな志向性をもった営みを解明。 978-4-642-02903-2

中世武家官位の研究

木下 聡著

A 5判 412頁 13,650円 吉川弘文館〔11月刊〕

南北朝から戦国期の受領官途や位階が持った意義・性格を、幕府・織豊政権による任官・叙位を含めて検討。「礼の秩序」を解明する。 978-4-642-02904-9

豊臣政権の支配秩序と朝廷

矢部健太郎著

A 5 判 308頁 8,925円 吉川弘文館〔12月刊〕

秀吉の関白任官により、幕府体制とは異なる政治体制を必要とした豊臣政権。その実態を、公武間の交流や大名統制策の特徴から考察。

978-4-642-02905-6

東北の村の近世

出羽国村山郡の総合的地域研究

渡辺尚志編

A 5 判 400頁 9,240円 東京堂出版〔12月刊〕

出羽国村山郡を対象に、百姓・村・地域社会、領主や江戸との関係にも留意し、土地所持・一揆・村方騒動などの諸問題について新たな論点を提示する。

978-4-490-20752-1

近世の地域と中間権力

史学会シンポジウム叢書

志村洋・吉田伸之編

A 5 判 328頁 4,410円 山川出版社〔12月刊〕

19世紀に登場する新たな社会的諸課題に直面して、地域はいかなる変容を迫られたのか、をまとめた一冊。2010年史学会大会をもとに編集。

978-4-634-52361-6

江戸幕府大目付の研究

山本英貴著

A 5 判 360頁 11,550円 吉川弘文館〔11月刊〕

「江戸幕府日記」や職務記録などから、組織や職務、下役支配の実態を解明する。江戸幕府職制研究に新たな展開を呼び込む注目の書。

978-4-642-03450-0

〈甲賀忍者〉の実像

歴史文化ライブラリー-335

藤田和敏著

四六判 208頁 1,785円 吉川弘文館〔12月刊〕

何が〈甲賀忍者〉を生み出したのか。自らの家筋を守ろうとした甲賀古土の生きざまから、出版文化による忍者イメージの形成を解明する。

978-4-642-05735-6

将軍権力の確立

日本近世の歴史 2

柚田善雄著

四六判 304頁 予価2,940円 吉川弘文館〔12月刊〕

〈鎖国〉・日光東照宮・キリシタンやかぶき者の弾圧…。「将軍」のもと江戸幕府の権力機構が作り出され、内外の秩序が確定する過程に迫る。

978-4-642-06430-9

幕末期対外関係の研究

上白石 実著

A 5 判 302頁 10,500円 吉川弘文館〔12月刊〕

幕末の対外政策はバリー来航以前の「海防」、来航以後の「開港」に分けられる。寛政期から明治前期までの対外政策の連続性を解明する。

978-4-642-03808-9

明治お雇い外国人とその弟子たち

片野 勲著

四六判 352頁 2,730円 新人物往来社〔11月刊〕

月刊歴史読本連載の単行本化。日本地震学会を創設したミルン、初の和英辞典を編纂したヘボンなど、各分野で近代日本をリードした外国人たちの来日の動機や果たした役割、国籍別推移ほかをまとめた一冊。978-4-404-4102-9

興農富村の研究

近代日本の稲作をめぐる農民の営み

郡司美枝著

A 5 判 411頁 7,350円 刀水書房〔11月刊〕

近代日本の発展を根底で支えた農村がもつ内在的な力を、五つの生産現場を通して明らかにした画期的な研究。稲作を中心にした村づくりへの農民の主体的な取り組みを検証。

978-4-88708-399-8

三野村利左衛門と益田孝—三井財閥の礎を築いた人びと—

日本史リブレット人86

森田貴子著

A 5 変型判 100頁 840円 山川出版社〔11月刊〕

三井と日本の社会が歩んだ歴史とともに、政治的・経済的な危機を乗り越え活躍した二人の実業家について考える。

978-4-634-54886-2

レンズが撮らえた幕末明治日本紀行

小沢健志監修 岩下哲典編

菊判 208頁 1,680円 山川出版社〔12月刊〕

全国各地を撮影した貴重な写真を網羅して、幕末・明治の日々を紹介する。『レンズが撮らえた幕末の日本』の続編。

978-4-634-15017-1

アマテラスと天皇

(政治シンボル)の近代史 歴史文化ライブラリー334

千葉 慶著

四六判 256頁 1,890円 吉川弘文館[11月刊]

明治政府がアマテラスを政治シンボルとした経緯や後の変貌、戦後の解体を分析。天皇制の政治神話を解明し、「象徴」天皇制を考える。

978-4-642-05734-9

近代日本の外交と宣教師

中島耕二著

A 5判 288頁 9,975円 吉川弘文館[12月刊]

明治8年、米国長老協会宣教師として来日したW・インブリー。「日本の近代化と宣教師」の関係を、政治外交面から解き明かす。

978-4-642-03809-6

日米開戦と山本五十六

『歴史読本』編集部編

四六判 288頁 1,680円 新人物往来社[11月刊]

日米開戦という無謀な選択がなぜ採用されたのか。この問題を多角度から検証し、「国策」として正式に採択された理由、運命を決定した御前会議とそれに先立つ大本営政府連絡会議は、どのように運営されていたのか等、開戦にかかわる事象を政治、軍事、外交、経済から分析する。

978-4-4040-4111-1

対日宣伝ビラが語る太平洋戦争

土屋礼子著

A 5判 280頁 2,415円 吉川弘文館[11月刊]

心を射る紙の弾丸。極限の戦闘状態で、兵士の生命を左右した一枚の紙きれ。対日心理戦の実像に迫り、戦時プロパガンダを読み解く。

978-4-642-08064-4

皇軍兵士とインドネシア独立戦争

ある残留日本人の生涯

林 英一著

四六判 208頁 2,310円 吉川弘文館[12月刊]

戦争・虐殺・災害…。人は「その後」をいかに行動するのか。インドネシアで残留日本兵への聞き書きを行なった、著者7年間の集大成。

978-4-642-08067-5

米軍基地の歴史

世界ネットワークの形成と展開 歴史文化ライブラリー336

林 博史著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館[12月刊]

なぜ、米軍基地はなくなるしないのか。その起源から普天間基地の形成過程まで、資料を元に徹底的に解明した基地を考えるための一冊。

978-4-642-05736-3

練馬ふるさと事典

練馬古文書研究会編

A 5判 320頁 5,040円 東京堂出版[11月刊]

練馬地域についての、初の郷土史事典。古代から現代(昭和末年)まで、練馬の貴重な史跡や歴史的な事象・文化的な事項について、1436項目を解説する。

978-4-490-10812-5

世界史

概論・通史/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/オセアニア

歴史を変えた火山噴火

自然災害の環境史 【世界史の鏡】環境 1

石 弘之著

四六判 170頁 1,680円 刀水書房[12月刊]

7万3,500年前から、日本の現在に至る火山噴火による異常気象を、人類史に重ねると、近未来までが見えてくる! 地球環境の悪化を追い続けた著者による書き下ろし。

978-4-88708-511-4

春秋戦国時代青銅貨幣の生成と展開

汲古叢書96

江村治樹著

A 5判 480頁 15,750円 汲古書院[11月刊]

約3万件に及ぶ膨大な貨幣データを駆使し、春秋戦国時代の貨幣経済の実態を明らかにし、文献史料だけでは伺い知れないこの時代の社会・都市・国家の実像に迫る。

978-4-7629-2595-5

春秋学用語集

汲古叢書57

岩本憲司著

四六判 250頁 3,360円 汲古書院[12月刊]

前者『春秋穀梁伝范甯集解』『春秋公羊伝何休解詁』『春秋左氏伝杜預集解 上・下』四冊の改訂を兼ね、一般語42語・特殊語50語を解説・分析した初の用語集。

978-4-7629-5057-5

孫文・辛亥革命と日本人

汲古叢書97

久保田文次著

A 5判 768頁 21,000円

汲古書院〔12月刊〕

辛亥革命百周年を記念し、50年余にわたる中国近代史・辛亥革命・孫文研究の研究成果を公刊する。

978-4-7629-2596-2

古代アジア世界の対外交渉と仏教

山川歴史モノグラフ23

河上麻由子著

A 5判 320頁 5,250円

山川出版社〔11月刊〕

古代日本の仏教が対中国交渉を円滑にする役割、および天皇の権威を補強する国内的な役割を負っていた実態を解明する。

978-4-634-52347-0

近代中国の地域像

山本英史編

A 5判 464頁 4,200円

山川出版社〔12月刊〕

19・20世紀の「近代化」に対し、中国の様々な地域が地域的特徴を踏まえていかに変容・解体をとげたか、というテーマをもとにした12本の論文集。

978-4-634-67224-6

メソポタミア文明の光芒—楔形文字が語る王と神々の世界—

MUSAEA JAPONICA 11

財団法人平山郁夫シルクロード美術館・古代オリエント博物館編 月本昭男監修

A 5判 128頁 1,700円

山川出版社〔11月刊〕

平山郁夫シルクロード美術館所蔵の粘土板や印章、神像などを通し古代メソポタミア文明を紹介する。

978-4-634-64827-2

イギリス王室—〇〇〇年史

石井美樹子著

A 5判 144頁 1,890円

新人物往来社〔11月刊〕

ビジュアル選書シリーズ。ウィリアム1世以来、1000年にわたって受け継がれてきた英国の歴史を、歴代の王の系譜をたどりながらオールカラーの美しい絵画や写真とともに読んで、見て楽しめる一冊。978-4-404-4098-5

世界史のなかのフィンランドの歴史

フィンランド中学校近現代史教科書

百瀬宏監訳

A B判 444頁 6,090円

明石書店〔11月刊〕

同時代の世界の動きと流れの中で自国の姿をとらえようとする、総合的な史観に基づくフィンランドの中学校歴史教科書。

978-4-7503-3473-8

アルジェリアの歴史

フランス植民地支配・独立戦争・脱植民地化

バンジャマン・ストラ著 小山田紀子・渡辺司訳

四六判 704頁 8,400円

明石書店〔10月刊〕

仏植民地時代史研究の第一人者による概説書三巻本を一冊にまとめて邦訳。独立戦争、内戦を越え現代に至る歴史を理解するための必読書。978-4-7503-3483-7

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

江戸衣装図鑑

菊地ひとみ著

菊判 344頁 3,570円

東京堂出版〔11月刊〕

「着物の黄金期」江戸時代の服飾を、武家・公家・商人・職人などの身分ごとに、衣装や髪型や装身具などを男女別に、カラー図版と文章で紹介する。978-4-490-10798-2

萬葉集研究 第32集

福岡耕二監修／神野志隆光・芳賀紀雄編

A 5判 272頁 7,875円

塙書房〔10月刊〕

本書は、学界第一線で活躍する執筆者による研究成果。【執筆者】影山尚之・大浦誠士・曾倉岑・大谷雅夫・奥村和美・山崎福之・高松寿夫 978-4-8273-0532-6

独立完成への苦闘

現代日本政治史 2

池田慎太郎著

四六判 224頁 1,890円

吉川弘文館〔12月刊〕

サンフランシスコ講和条約、55年体制の成立、安保闘争…。吉田茂・鳩山一郎・池田勇人・岸信介ら、「独立の完成」を目指す政治家の苦闘。978-4-642-06436-1

真珠湾を語る

歴史・記憶・教育

矢口祐人・森茂岳雄・中山京子編

A 5判 288頁 3,990円 東京大学出版会〔12月刊〕

真珠湾攻撃から70年、日米双方のその「語られ方」にはいまだ深い懸崖があるが、その中で、現世代による理解と和解の教育の可能性を探る。小中高での教育実践例も紹介。

978-4-13-020300-5

総図解 よくわかる キリスト教

前島 誠著

四六判 256頁 1,470円 新人物往来社〔12月刊〕

総図解シリーズ。キリスト教の歴史と聖書のこと、この一冊でよくわかる。知っているようで知らないキリスト教のすべてを、豊富な図解とともにやさしく解説します。

978-4-4040-4121-0

国分寺の創建

思想・制度編

須田 勉・佐藤 信編

B 5判 400頁 15,225円 吉川弘文館〔12月刊〕

国分寺の研究は、日本仏教史を考える上で欠かせない主題である。創建期の国分寺について、造営における思想や制度の面から追究する。

978-4-642-02487-7

増補 放射線被曝の歴史

アメリカ原爆開発から福島原発事故まで

中川保雄著

四六判 336頁 2,415円 明石書店〔10月刊〕

被曝を強制する側により作られた放射線被曝防護基準。その欺瞞を白日の下に晒す。1991年に刊行された旧版に、福島原発事故の評価を加えて待望の復刊。 978-4-7503-3482-0

イタリア・ルネサンス美術館

松浦弘明著

菊判 416頁 3,990円 東京堂出版〔11月刊〕

美術史上のハイライトであるイタリア・ルネサンス美術の主要な画家や作品のテーマごとに絵画の見方・鑑賞のポイントをわかりやすく丁寧に解説。 978-4-490-20739-2

雑穀の社会史

歴史文化セレクション

増田昭子著

A 5判 356頁 3,990円 吉川弘文館〔12月刊〕

日本人の生活や信仰は、稗・粟などの雑穀を含めた多様な価値意識のもと発展した。様々な視点から雑穀文化を位置づけ、その意味を問う。 978-4-642-06378-4

日本人はなぜ妖怪を畏れるのか

三浦節夫著

四六判 192頁 1,545円 新人物往来社〔11月刊〕

なぜ人は妖怪を信じるのか。人をかどわかす未知の存在に挑んだ井上円了と、失われつつある民族を守ろうとした柳田国男。二つの妖怪学を比較しながら、いまなお妖怪を愛する日本人の国民性を探る！ 978-4-4040-4099-2

図解案内 日本の民俗

福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村 風編

A 5判 352頁 3,465円 吉川弘文館〔12月刊〕

言葉だけではイメージをつかむことが難しい伝統的な生活文化を、1800点以上の図版で再現。「見て学ぶ」ユニークな民俗学入門。

978-4-642-08061-3

伝 記

秦 河勝

人物叢書267

井上満郎著

四六判 286頁 2,100円 吉川弘文館〔12月刊〕

飛鳥時代の渡来人。聖徳太子の側近として、軍事・外交に貢献。京都太秦に広隆寺を創建。伝承や謎の多い生涯を、秦氏の伝統から描く。

978-4-642-05260-3

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

雑誌

山本五十六

山川MOOK

山川出版社編

B5判 160頁 1,680円

山川出版社[12月刊]

978-4-634-17005-8

日本歴史 12月号(第763) =11月刊
1月号(第764) =12月刊

日本歴史学会編集

大国アメリカとの戦争—「未曾有の困難」に
山本五十六はどう向き合ったのか。山本五十六の生涯を貴重な資料でビジュアル紹介。

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A5判 12月号=146頁 780円

A5判 1月号=178頁 1,000円

吉川弘文館[11・12月刊]

③墳墓構造と葬送祭祀

六三〇〇円

〔既刊〕

①古墳時代の史の枠組み 六三〇〇円
これまでの研究史を踏まえ、遺物の編年や古墳の実年代など研究の基盤となる諸相の到達点を提示。

〔最新刊〕

古墳時代の考古学 全十巻 (B5判)
一瀬和夫・福永伸哉・北條芳隆編

日本史年表・年号ハンドブック
阿部猛編 新書判・一六二頁・一六六〇円

増補改訂 日本古代官職辞典
阿部猛編 A5判・六〇八頁・九九八五円

常陸国風土記の世界「市民の考古学」
茂木雅博著 四六判・一八〇頁・一六八〇円

中国夏王朝考古学研究
飯島武次著 B5判・四八〇頁・一五七五〇円

縄文文化起源論の再構築
谷口康浩著 A5判・三〇六頁・六〇九〇円
縄文時代の始まりとは？「草創期」の歴史の評価を揺るがす基本的な問題を明らかにし、時代区分の妥当性と縄文文化の起源に関する通説を問い直す。
〔主な目次〕1章「縄文草創期」再考/2章 青森県大平山元1遺跡の7c年代・較正暦年代/3章 東アジアの土器の起源と初期土器文化/4章 縄文の発生形態と施文原形/5章 長者久保・神子柴石器群と細石刃石器群の関係/6章 財としての神子柴型石斧/7章 縄文早期のはじまる頃

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



歴史書以外の——

人文社会図書新刊案内

2011.11・12

— 明石書店 —

- 子どもの育ちをひらく 親と支援者ができる少しばかりのこと 牧真吉著 ……四六判 1,890円 11月
- 正義のアイデア アマルティア・セン著 池本幸生訳 ……四六判 3,990円 11月
- 二極化する若者と自立支援 「若者問題」への接近 宮本みち子・小杉礼子編著
……………四六判 1,890円 11月
- ポルトガルを知るための55章【第2版】 村上義和・池俊介編著 ……四六判 2,100円 11月

— 思文閣出版 —

- 典籍と史料 龍谷大学仏教文化研究叢書28 大取一馬編 ……A 5判 8,925円 11月
- 観経疏の抄 玄義分 中 浄土宗叢書 第1巻 豊田元彦監修 西山禅林学会発行
……………B 5判 5,250円 11月
- 動物・植物写真と日本近代絵画 中川馨著 ……A 5判 5,250円 12月

— 東京大学出版会 —

- 矢内原忠雄 鴨下重彦・木畑洋一・池田信雄・川名子義勝編 ……四六判 2,730円 11月
- 臨床心理学をまなぶ7 量的研究法 南風原朝和著 ……A 5判 2,730円 11月
- 刑法各論講義 第5版 前田雅英著 ……A 5判 4,200円 12月
- 儒教入門 土田健次郎著 ……四六判 2,730円 12月
- 政党政治の混迷と政権交代 樋渡展洋・斉藤淳編 ……A 5判 4,725円 12月

— 同 成 社 —

- 育ち合うことの心理臨床—親と子の心を支える保育実践のために 肥後功一著
……………四六判 1,995円 12月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

* 会員社刊行の2011年受賞図書 *

〈2011年度地理空間学会学術賞〉

『ブラジル日本移民』 丸山浩明編著 …… A 5判 4,725円 明石書店
特に顕著な研究業績を公刊した会員に授与する。

〈第六回全国大学国語国文学会賞〉

『一休派の結案と史的展開の研究』 矢内一磨著 …… A 5判 8,190円 思文閣出版
国語国文学を中心とする、若手研究者の優れた研究業績に対して贈られる賞。

〈平成22年度島田謹二記念学藝賞〉

『ロマネスクの宇宙 ジローナの《天地創造の刺繍布》を読む』 金沢百枝著
…………… A 5判 12,600円 東京大学出版会
「比較文学比較文化」の呼名に適合する分野での、且つ原則として五十歳までの所謂中堅・若手研究者の手になる、堅実な学問的業績に対し、贈られる賞。

〈2011年度生協総研賞研究賞〉

『日本の不平等を考える 少子高齢社会の国際比較』 白波瀬佐和子著
…………… 四六判 2,940円 東京大学出版会
人々のくらしをめぐる研究の発展と、生協・消費者・社会運動に関連する研究の発展を目的とした、優れた研究に贈られる賞。

〈第32回発展途上国研究奨励賞〉

『カーストと平等性 インド社会の歴史人類学』 田辺明生著
…………… A 5判 12,600円 東京大学出版会
発展途上諸国の経済などの諸問題に関する優秀図書に贈られる賞。

〈第28回政治研究櫻田會奨励賞〉

『ヴェトナム戦争と同盟外交 英仏の外交とアメリカの選択 1964—1968年』 森 聡著
…………… A 5判 7,140円 東京大学出版会
政治研究において優れた成果をあげた作品に贈られる賞。

〈第27回大平正芳記念賞〉

『スハルト体制のインドネシア 個人支配の変容と一九九八年政変』 増原綾子著
…………… A 5判 6,510円 東京大学出版会
「環太平洋連帯構想」の発展に貢献する政治・経済・文化・科学技術に関する優れた著作に贈られる賞。

〈第26回電気通信普及財団賞（テレコム社会科学賞）〉

『情報法の構造 情報の自由・規制・保護』 山口いつ子著

..... A 5判 5,880円 東京大学出版会
 電気通信についての社会科学的又は工学的技術的観点からの優れた著作に贈られる賞。

〈第3回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞〉

『情報法の構造 情報の自由・規制・保護』 山口いつ子著

..... A 5判 5,880円 東京大学出版会
 優れたマス・メディア研究に贈られる賞。

〈2011年度地理情報システム学会学会賞（著作部門）〉

『時空間情報プラットフォーム 環境情報の可視化と協働』 佐土原聡編

..... A 5判 4,725円 東京大学出版会
 地理情報システムに関する著作で、地理情報システムの発展（研究、教育、普及など）に貢献したものに贈られる賞。

〈第15回建築史学会賞〉

『中国の都市・建築と日本「主体的受容」の近代史』 徐 蘇斌著

..... A 5判 12,600円 東京大学出版会
 建築史学の発展と水準の向上に寄与することを目的として、建築史学における優秀な個別業績に授与される賞。

〈第7回新潟出版文化賞〉

『割地慣行と他所稼ぎ 越後蒲原の村落社会史』 中村義隆著

..... A 5判 3,990円 刀水書房
 地域の文化振興に寄与する作品（新潟県の「文化の宝もの」）を顕彰する賞。

〈第32回日本出版学会賞〉

『〈主婦〉の誕生—婦人雑誌と女性たちの近代』 木村涼子著

..... A 5判 5,040円 吉川弘文館
 出版研究の領域における優れた著作、論文に贈られる。本書は1920年代以降の『主婦之友』などを多面的に考察。主婦というジェンダー秩序の形成における雑誌の果たした役割を明らかにした刺激的で魅力的な研究と評価された。

〈第3回昭和女子大学女性文化研究賞〉

『〈主婦〉の誕生—婦人雑誌と女性たちの近代』 木村涼子著

..... A 5判 5,040円 吉川弘文館
 男女共同参画社会形成の推進と女性文化研究の発展に寄与する研究に贈られる。日本の近代的ジェンダー形成期における主婦文化の内実を読者心理に分け入って集中的に抽出している点が評価された。

〈第26回女性史青山なを賞〉

『「帝国」の映画監督 坂根田鶴子―『開拓の花嫁』・1943年・満映』 池川玲子著
..... A 5判 3,990円 吉川弘文館
女性学の視点に立脚する優れた女性史の業績に贈られる。東京女子大学女性学研究所主催。

〈第23回国華賞〉

『奈良甲冑師の研究』 宮崎隆旨著 B 5判 31,500円 吉川弘文館
日本及び東洋関係美術の論考の中の最優秀作に贈られる。國華社、朝日新聞社主催。実証的研究を積み重ね甲冑史研究、日本工芸史研究に新しい視点をもたらしたことが高く評価された。

〈第23回倫雅美術奨励賞〉

『銅像受難の近代』 平瀬礼太著 A 5判 4,410円 吉川弘文館
優れた新鋭の美術評論家、美術史研究家および美術史研究家の活動に贈られる。公益信託倫雅美術奨励基金主催。銅像たちの数奇な運命を激動の近現代史の中に読み解いた好著。

歴懇リバイバル2011

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に宗教史、文学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少数数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2011年8月1日現在10社28点。

主催：歴史書懇話会

発売：2011年10月上旬

青木書店	03-5997-4051	刀水書房	03-3261-6190
明石書店	03-5818-1171	同成社	03-3239-1467
学生社	03-3857-3031	塙書房	03-3812-5821
東京大学出版会	03-3811-8814	法藏館	075-343-5656
東京堂出版	03-3233-3741	吉川弘文館	03-3813-9151

※著者名につづく()は初版年、出版社名につづく[]は分類を示します。
 ※価格は予定価格です。

餓死した英霊たち

藤原 彰著 (2001)

四六判 240頁 2,625円 青木書店〔日本近代史〕

日本軍戦没者のうち140万人が餓死だった！補給の途絶、降伏の禁止された、「名誉の戦死」の実相を、膨大な資料を駆使して明らかにする。 978-4-250-20115-8

新編原爆詩集

峠 三吉著 (1995)

小B 6判 164頁 1,050円 青木書店〔文学〕

ちちをかえせ ははをかえせ・・・誰でも一度は耳にしたことのある「序」を持つ名詩集に中野重治・鶴見俊輔氏の解説を付した。 978-4-250-95031-5

韓国がわかる60の風景

林 史樹 (2007)

B 6判 216頁 1,680円 明石書店〔アジア文化史〕

日常的によく見かける、韓国の人々のありきたりの行動から、韓国文化の特徴や韓国的なものの見方・考え方を提示する。より深く韓国を理解するために最適の本。 978-4-7503-2528-6

神道概説

鎌田純一著 (2007)

四六判 240頁 2,520円 学生社〔宗教〕

「神道」とはなにか？ 日本文化の根底にあり日本人の風俗・習慣とともに継承されてきた神道。日本文化と神道のすべてを網羅し系統的にわかりやすく解説する。 978-4-311-20312-1

南北朝内乱史論

佐藤和彦著 (1979)

A 5判 424頁 6,510円 東京大学出版会〔日本中世史〕

南北朝内乱を底辺でつき動かした民衆の姿、悪党の活躍に視点を据え、内乱を階級闘争史の観点からとらえ直す。 978-4-13-020061-5

中世を読み解く 古文書入門

石井 進著 (1990)

B 5判 224頁 3,780円 東京大学出版会〔日本中世史〕

「古文書を読む」とは、中世史研究の出発点であると同時に目標の一つ。二十数点の古文書を読みながら、中世社会の知られざる姿を再現する。 978-4-13-022011-8

太平洋戦争とアジア外交

波多野澄雄著 (1996)

A 5判 328頁 5,040円 東京大学出版会〔日本近代史〕

大戦期のアジア外交の形成と展開を明らかにし、日本の戦争目的とされた「民族解放」が政策的にどのような意味を持っていたかを検証する。 978-4-13-030107-7

日本古代人名辞典

阿部 猛編著 (2009)

菊判 820頁 15,750円 東京堂出版〔日本古代史〕

日本古代史を網羅すべく、位階・官職をはじめ、史料上に残る人物13,600名を収録する。すべての項目に出典を明記し解説した労作。 978-4-490-10761-6

インド社会と新仏教

山崎元一著 (1979)

四六判 274頁 2,310円 刀水書房〔インド史〕

ガンディーに対立してヒンドゥーの差別と闘い、インドに仏教を復興した不可触民出身の政治家の生涯。日本のアンベードカル研究の原典。 978-4-88708-002-7

千利休—ヒト・モノ・カネ

戸上 一著 (1998)

四六判 212頁 2,100円 刀水書房〔日本文化史〕

高価な茶道具にまつわる美と醜の世界を、視野に入れない従来の利休論にあきたらなかつた筆者が、書き下ろした利休の実像。 978-4-88708-210-6

増補改訂古代官職辞典

阿部 猛編 (2007)

A 5判 608頁 9,975円 同成社〔日本古代史〕

古代の官職制度について『古事類苑』ほか先行諸研究を参照し、複雑なその内容を簡潔に整理整頓した、古代史・文学研究者に必須の事典。 978-4-88621-415-7

日本中世の社会と仏教

平 雅行著 (1992)

A 5判 534頁 10,500円 塙書房〔仏教史〕

本書は浄土教一専修念仏の実態を実証的に再検討し、浄土教中心史観からの脱却を図り、古代中世仏教史像の組替を企画した意欲作。

978-4-8273-1091-7

日本古代の氏族と天皇 (オンデマンド版)

直木孝次郎著 (1964)

A 5判 374頁 7,350円 塙書房〔日本古代史〕

“記紀伝承の批判的考察”の方法により日本古代国家の特色、古代天皇制の歴史的性格に、著者独自の見解を展開【OD版に付注文扱】

978-4-8273-1645-2

古代王権の祭祀と神話 (オンデマンド版)

岡田精司著 (1970)

A 5判 458頁 9,450円 塙書房〔日本古代史〕

古代における宗教と国家権力とのかかわりを一記紀神話の政治的性格のみならず、それを具体的に古代国家においてどのように機能を発揮したかを考察【OD版に付注文扱】

978-4-8273-1649-0

日本古代財政史の研究 (オンデマンド版)

藪田香融著 (1981)

A 5判 440頁 9,450円 塙書房〔日本古代史〕

正倉院蔵の天平期正税帳や財政文書等の基礎的研究を通じて、古代国家財政の機構・運用の実態に迫り、その成立・展開から崩壊にいたる全過程を鳥瞰【OD版に付注文扱】

978-4-8273-1646-9

日本古代の貴族と地方豪族 (オンデマンド版)

藪田香融著 (1992)

A 5判 344頁 7,875円 塙書房〔日本古代史〕

古代貴族の特色に加え、大古墳群や異色の遺跡の歴史的背景を、新出史料・日朝史料等広く駆使して考察し、豪族の支配的存在形態を解明【OD版に付注文扱】

978-4-8273-1647-6

九州庄園の研究 (オンデマンド版)

工藤敬一著 (1969)

A 5判 348頁 7,875円 塙書房〔日本中世史〕

アジアの封建制究明の視角を提唱した一人である著者が、代表的地方庄園の一つである九州庄園を具体的考察【OD版に付注文扱】

978-4-8273-1648-3

日本歴史地理序説 増補版 (オンデマンド版)

藤岡謙二郎著 (1981)

B 6判 346頁 3,990円 塙書房〔地理学〕

地理学が元来、日本歴史や考古学とよりあって研究される必要をとき、その方法論の展開とともに、歴史時代における地形を、多数の図版に重点おき復元する。【OD版に付注文扱】

978-4-8273-3519-4

日本語方言文法の世界 (オンデマンド版)

藤原与一著 (1969)

B 6判 324頁 3,570円 塙書房〔言語学〕

研究方法・文と連文・話部・語詞・発展的動向など分析的見地にに基づき、総合的に把握した日本語構造論【OD版に付注文扱】

978-4-8273-3566-8

日中外交史 一北伐の時代一 (オンデマンド版)

臼井勝美著 (1971)

B 6判 206頁 2,100円 塙書房〔日本近代史〕

満州事変前夜の大陸を席捲した国民革命軍北伐の嵐。その渦中で、南京・漢口事件・張爆死など複雑に展開する事象に日本はいかに対応したか、その全貌を描く。

978-4-8273-4539-1

古代仏教の中世的展開

村山修一著 (1976)

A 5判 372頁 10,500円 法蔵館〔仏教史〕

天台・真言の中世への展開をあとづけて、古代仏教の日本文化への影響力を述べている。比叡山延暦寺や葛川明王院の史料調査。

978-4-8318-6514-4

徴兵制と近代日本 1868—1945

加藤陽子著 (1996)

四六判 304頁 3,045円 吉川弘文館〔日本近代史〕

徴兵令制定から、兵役法廃止まで70余年の度重なる改変過程と軍部・政府間の攻防を辿り、日本近代国家の特質を抉出。

978-4-642-07496-4

飛鳥の宮と藤原京

よみがえる古代王宮 歴史文化ライブラリー249

林部 均著 (2008)

四六判 272頁 1,890円 吉川弘文館〔日本古代史〕

飛鳥にはどのような王宮や施設が造られ、整備されていたか。考古学の成果と『日本書紀』により、その姿が生き生きとよみがえる。

978-4-642-05649-6

大飢饉、室町社会を襲う！

歴史文化ライブラリー258

清水克行著 (2008)

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔日本中世史〕

慢性的な飢饉に直面し生きていた室町人。現代にも通じる飢饉と飽食の残酷な構造をえぐりだし、室町時代の実相を描き出す。

978-4-642-05658-8

藤原行成 (人物叢書)

黒板伸夫著 (1994)

四六判 320頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

平安時代中期の公卿。三蹟の一人。抜群の政治感覚で道長政権下で活躍。その日記『権記』をもとに貴族官僚の実像に迫る。

978-4-642-05199-6

奥州藤原氏四代 (人物叢書)

高橋富雄著 (1958)

四六判 240頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

僻遠の奥州に燦然たる文化と富裕な平泉王国を建設。清衡以下四代の事蹟とその興亡の跡を解明する。

978-4-642-05094-4

平 清盛 (人物叢書)

五味文彦著 (1999)

四六判 354頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

平安時代末期の武将。『平家物語』の語る虚像を剥ぎ、朝廷の政治世界に初めて武家政権を開いた武人の生涯を描く。2012年大河ドラマ主人公。

978-4-642-05212-2

源 義経 (人物叢書)

渡辺 保著 (1966)

四六判 268頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

鎌倉時代前期の武将。赫々たる武勲と数奇な運命！ いっさいの粉飾をぬぐい、正確な史料により描いた“悲劇の英雄”の伝。

978-4-642-05042-5

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴懇リバイバル2011

フェア参加店一覧

*は歴史書懇話会特設店 2011年11月30日現在

札幌市	MARUZEN&ジュンク堂 書店札幌店	名古屋市	ジュンク堂書店ロフト 名古屋店
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	*名古屋市	ちくさ正文館本店
*仙台市	ジュンク堂書店仙台店	名古屋市	丸善名古屋栄店
仙台市	東北大学生協文系書籍店	*豊橋市	精文館書店本店
仙台市	丸善仙台アエル店	津市	別所書店修成店
山形市	八文字屋書店本店	京都市	アバンティ・ブック センター京都店
郡山市	ジュンク堂書店郡山店	京都市	大垣書店イオンモール KYOTO店
つくば市	丸善筑波大学会館店	京都市	京都大学生協ブック センタールネ
前橋市	文真堂ブックマンズ アカデミー前橋店	京都市	ジュンク堂書店京都店 ジュンク堂書店京都 BAL店
さいたま市	ジュンク堂書店大宮 ロフト店	*京都市	同志社生協書籍部今出川店
*さいたま市	須原屋本店	京都市	喜久屋書店阿倍野店
*千代田区	岩波ブックセンター信山社	京都市	紀伊國屋書店梅田本店
*千代田区	東京堂書店神田神保町店	大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
中央区	丸善丸の内本店	大阪市	ジュンク堂書店千日前店
新宿区	ジュンク堂書店新宿店	*大阪市	MARUZEN&ジュンク堂 書店梅田店
*新宿区	芳林堂書店高田馬場店	大阪市	海文堂書店
新宿区	早稲田大学生協戸山店	*神戸市	ジュンク堂書店三宮店
文京区	東京大学生協本郷書籍部	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店
渋谷区	MARUZEN&ジュンク堂 書店渋谷店	神戸市	ジュンク堂書店姫路店
*豊島区	ジュンク堂書店池袋本店	姫路店	ジュンク堂書店明石店
立川市	オリオン書房ノルテ店	明石市	ジュンク堂書店西宮店
武蔵野市	ジュンク堂書店吉祥寺店	西宮市	啓林堂書店奈良ビブレ店
新潟市	ジュンク堂書店新潟店	奈良市	今井書店鳥取外商部
*富山市	Books なかだ本店	鳥取市	今井書店吉成店
*金沢市	うつのみや柿木島本店	鳥取市	今井書店グループ センター店
*長野市	平安堂長野店	松江市	ジュンク堂書店岡山店
静岡市	戸田書店静岡本店	岡山市	
静岡市	谷島屋呉服町本店		
名古屋市	三省堂書店名古屋高島屋店		
名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店		

倉敷市	喜久屋書店倉敷店	松山市	愛媛大学生協城北ショップ
広島市	ジュンク堂書店広島駅前店	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
広島市	MARUZEN&ジュンク堂 書店広島店	福岡市	九州大学生協書籍部文系店
東広島市	広島大学生協北1 コープブック書籍部	*福岡市	ジュンク堂書店福岡店
*広島市	フタバ図書 TERA 広島府中店	福岡市	丸善博多店
徳島市	紀伊國屋書店徳島店	大分市	ジュンク堂書店大分店
		鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
		那覇市	ジュンク堂書店那覇店

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

早いもので、今年も残るところ1カ月を切りました。本当に日本中皆で、頑張って生きてきたように感じます。

さて、嬉しいお知らせです。歴史書懇話会の特設店「ジュンク堂書店仙台店」さんが、東日本大震災から8カ月、震災被害を受けた元のイービーンズビルに、ついに復帰できました。11月18日がグランドオープンでした。本当におめでとうございます。

私たち歴史書懇話会は東北の書店の皆さまを、これからも応援させていただきます。

来年2012年を明るい気持ちで迎えられるように、歴史書懇話会一同、心から祈念致しております。

.....歴懇フェアのお知らせ.....

- ジュンク堂書店仙台本店のオープニングフェアは
「頑張ろう東北！—豊かな歴史と文化/力強く生きた人たち」です
- 月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを下記の5書店で開催中です
◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇紀伊國屋書店新潟店（新潟市）
◇ブックデポ書楽（さいたま市）／◇芳林堂書店高田馬場店（東京都）
◇今井書店グループセンター店（松江市）
- ジュンク堂書店新宿店で「これが歴史書だ！」フェアが続いています
第32回目「歴史書懇話会フェア 砦・城・城下町」11月1日～12月15日
- 「平清盛」関連書ミニフェアを下記16書店で開催中です
◇ジュンク堂書店秋田店／◇ジュンク堂書店仙台本店／◇八文字屋本店
◇八文字屋泉店／◇煥乎堂書店本店／◇ブックマンズアカデミー前橋店
◇須原屋武蔵浦和店／◇紀伊國屋書店新宿南店／◇ジュンク堂書店藤沢店
◇丸善名古屋栄店／◇ジュンク堂書店天満橋店／◇ジュンク堂書店住吉店
◇フタバ図書 TERA 広島府中店／◇紀伊國屋書店広島店
◇ジュンク堂書店広島駅前店／◇MARUZEN&ジュンク堂書店広島店
- 2012年は「古事記」編纂1300年。ミニフェアを下記4書店で開催中です
◇ブックマンズアカデミー前橋店／◇リプロ池袋本店
◇紀伊國屋書店広島店／◇今井書店出雲店
- 広島大学生協北一コープショップで歴史書懇話会フェアを開催中です
11月14日～12月10日
- 名古屋大学生協南部書籍店で歴史書懇話会フェアを開催中です
11月14日～12月末

* 今年も秋恒例の歴懇リバイバルフェアを、全国の書店様のご協力で無事開催する事が出来ました。ありがとうございました。ご協力頂いた書店様名は本誌21～22頁をご覧ください。

歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在16社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

＜歴史書懇話会＞の主な事業

「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約180書店で会員社の歴史書80冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は190冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

「特設店」全国に22拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です!

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に22店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いしています。特設店では多くの新刊・常備品を揃えるとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

「歴懇リバイバル」毎年秋の復刊書フェアとしてご好評いただいています。

毎年10月に統一復刊・重版事業「歴懇リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

会員社 青木書店・明石書店・校倉書房・学生社・汲古書院・思文閣出版・新人物往来社・東京大学出版会・東京堂出版・刀水書房・同成社・搞書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

世界史の鏡

新しい時代の新しい歴史101冊
樺山紘一編 各巻四六並製 一六〇頁 ¥二六〇

歴史を変えた火山噴火

自然災害の環境史

シリーズ11冊目

石弘之著 環境1
火山噴火が歴史に与えた影響を辿る新しい環境史の誕生。7万年前のトバ噴火は甚大な被害を人類に。ナポレオンのロシア遠征失敗は噴火による。火山の冬が原因。等、地球科学の進展が新知見をもたらす。

農業と遊牧の交わる都 北京

妹尾達彦著 環境2

ユーラシア大陸全体を俯瞰して、農業地帯と遊牧地帯の境界にある北京を歴史的に辿る。古代から現代に至る中国文明の大きな展開を語る環境史。

万葉時代の婚姻の研究

栗原弘著

A5箱 五〇〇頁 ¥九七六五
従来の母系家族説や父系家族説とは異なった、双系家族説の立場による、万葉時代の婚姻史。

近代ポヘミア農村と市民社会

桐生裕子著

A5箱 三三〇頁 ¥八五〇五
19世紀後半ハブスブルク帝国内農村の変容出版物と結社の検討により、身分制廃止後のポヘミア農村における「市民社会形成」「国民化」への変容を明らかに。

中国古代家族史研究

秦律・漢律にみる家族形態と家族観

鈴木直美著

A5箱 三〇〇頁 ¥六〇九〇
中国古代における家族法の検討を通して、戦国秦・前漢前期の法制上の家族形態と、家族観の展開を探る。

イメージにひそむ身体 中世の視覚文化

ジャン・クロード・シュミット著

小池寿子・廣川暁生・古本高樹訳
中世においてキリスト教美術は如何にイメージを立ち上げさせてきたのか。「イメージ」とその力とはいったい何か。歩み寄る歴史学と美術史学。
A5判 四〇〇頁 予価¥七二四五

2011年の新刊・重版・復刊 好評発売中

人種差別の世界史

白人性とは何か？

藤川隆男著

(刀水歴史全書22) 四六上製 二七四頁 ¥二四一五

ギリシアの古代

歴史はどのように創られるか？

R・オズボン著／佐藤昇訳

(刀水歴史全書21) 四六上製 二六二頁 ¥二九四〇

ヨーロッパの北の海

北海・バルト海の歴史

D・カービー、M.L.ヒンカネン著

A5上製 四五二頁 ¥六三〇〇

生まれる歴史、創られる歴史

玉木俊明・牧野正憲・谷澤毅・根本聡・柏倉知秀訳

アジヤ・アフリカ史研究の最前線から

永原陽子編 A5上製 二四〇頁 ¥三〇四五

中世イスラーム国家の財政と寄進

後期マムルーク朝の研究

五十嵐大介著

A5箱 三五〇頁 ¥七三三五

建国初期アメリカ財政史の研究

モリス財政政策からハミルトン体制へ

松本幸男著

A5箱 三四〇頁 ¥六九三〇

戦争の世界史

技術と軍隊と社会

W・H・マクニール著／高橋均訳

A5箱 五六五頁 ¥七八七五

モンタユニュー(上)

ピレネーの村 1294-1321

E・ルロワ・ラデュリ著／井上幸治・渡邊昌美・波木居純一訳

四六上製 三六七頁 ¥二九四〇

インド社会と新仏教

山崎元一著

アンベードカルの人と思想 四六上製 二七〇頁 ¥三三二〇

千利休

戸上一著

ヒト・モノ・カネ 四六上製 二二二頁 ¥二一〇〇

興農富村の研究

郡司美枝著

近代日本の発展を根底で支えた農村がもつ内在的な力を検証 四六上製 四〇〇頁 ¥七三三五

【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館



刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

レンズが撮らえた幕末明治日本紀行

小沢健志監修 岩下哲典編

菊五変型判 192頁十巻頭カラー16頁 1680円

幕末に初めて撮影に成功した写真家は、記念写真から日常生活に至るまで急速に浸透した。約800点の貴重な写真から、当時の事件・風俗・人物・名所旧跡などを紹介する。

江戸東京味の散歩道

嵐山光三郎・山本一乃ほか

菊五変型判 オールカラー 240頁 1680円

街歩きの人たち、江戸から続く老舗の由来や味・店構えなど、その魅力を余すところなく紹介する。日本橋・湯島・品川界隈をはじめ、東京の newName スカイツリーのお膝元まで、読んで、見て、歩いて楽しい1冊。写真約700点。

山本五十六

山川MOOK05

B5判 オールカラー 160頁 1680円



日米開戦から七〇年。連合艦隊司令長官 山本五十六の実像に迫る。猪瀬直樹、手嶋龍一、寺島実郎、石破茂をはじめ、当代一流の論客が独自の視点から論じるインタビュ18本を収録。貴重な写真も多数掲載した完全保存版！

日本史リブレット

A5変型判 840円

89 近世鉾山をささえた人びと 荻慎一郎
村社会とは異なる固有性を持っていた近世の鉾山社会。その共通性や時代背景を考察し、近世後期の鉾山社会の実像を描く。

日本史リブレット

人ひと A5変型判 840円

63 小林一茶 時代をよむ俳諧師 青木美智男
慈愛に満ちた、滑稽味あふれる句をよんだ小林一茶は、一方で古典に精通し、真摯に時代を見つめる人物でもあった。一茶の句を紹介しつつ、新たな二茶像を描き出す。

物語の舞台を歩く

純友追討記



下向井龍彦 四六判 212頁十口絵8頁 18900円

藤原純友の海賊という定説は、はたして妥当だろうか？ 勲功への正当な評価を求め、志半ばで倒れたひとりの武士としての物語を紹介する。

2012年版

山川歴史手帳

735円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13

電話03-3293-8131

http://www.yamakawa.co.jp (表示は税込)

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・矢澤伊作>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4 <担当者・宮崎 淳>
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355<担当者・井熊勇介>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル<担当者・豊田達也>
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・廣木理人>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・榎 祐典>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第1ビル6F <休会>
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2012年1月1日発行・第199号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店